

# 奥州湖へいらっしやい

(No.109 令和5年3月)



## 春の融雪水を有効活用し発電を増やす取組を試行中

実施期間：令和5年2月15日～令和5年4月20日

胆沢ダムでは、例年、春の融雪によりダム湖に流入する水が増え、ダム湖の水位が高くなります。一定の水位になると自然に放流（越流）がはじまりますが、この自然越流水は未活用のまま下流へ放流しています（『白雪の滝』）。

これは、かんがい用水の貯留、水道用水等の供給のため、水位を高くして運用するダム運用ルールとなっているためです。

今回、融雪の前にダム湖水位を特別に低く運用（最大2m低下）し、流入してくる融雪水をダム湖に貯留することで、未活用の水資源の放水を抑え、発電量を増やす取組です。

試行の中では、水道用水の水質への影響や増加する発電量の把握、治水効果の確認などを行います。



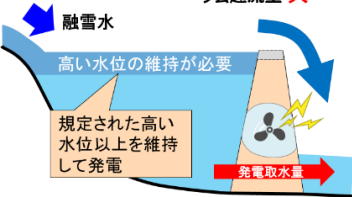
去年の越流の様子（令和4年4月12日）

### ～利水者間の連携により実現～



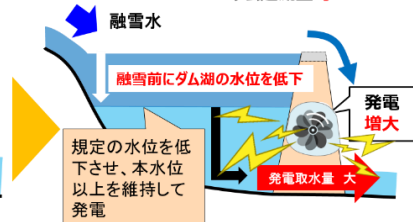
#### 現状

ダム越流量 大



#### 試行運用

ダム越流量 小



- 利水（かんがい、水道、発電）のため **高い水位の維持が必要（ルール）**
- 融雪水の多くは **ダムを越流**
- 発電は規定の水位以上の水を活用

- 融雪水貯留のため **事前に水位低下** ⇒ **水位低下させた分の貯留量増加により発電量増大**
- ⇒ **下げた規定の水位以上の水位を維持して運用（発電）**
- 融雪水の一部がダムに貯留され **ダム越流量が低減**

本取組は、国が進める **カーボンニュートラル** に向けた取組において、水力発電の価値が高まっていることを踏まえ、これら未活用の貴重な水資源の有効活用を目指し、試行を行うものです。

冬期に十分な降雪があり、渇水のおそれがないことを条件に、融雪期前にダムの水位を低下させポケットをつくることで、未活用水の放水を抑え、発電に活用します。

融雪期前に水位を下げて運用することで、急激な融雪による洪水に対しても、下流河川での治水安全度の向上も期待されます。

## 胆沢川源流域の積雪

気温の高まりとともに山の雪解けが始まりますが、今年も胆沢川源流域には多くの積雪が見られました。この雪が解けて、胆沢扇状地の水田を潤します。

胆沢川源流域と岩手山  
（左に網張スキー場が見えました）

奥州湖と猿岩

焼石連峰（左に秋田駒ヶ岳）

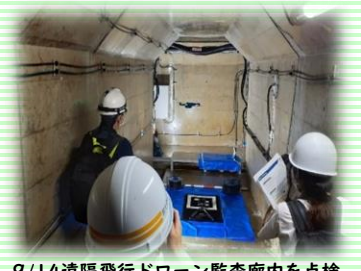
撮影：山岳カメラマンO州氏

早池峰山と胆沢扇状地



# 令和4年度 胆沢ダムこの一年

- 4月 “白雪の滝” 融雪自然越流開始 (4/9)  
胆沢ダム内部公開を実施:胆沢ダムと水力発電所を一般公開し約80名が参加
- 5月 洪水対応演習を実施
- 6月 奥州湖へいらっしやい100号目発行!  
放流警報音達訓練、実践的放流操作訓練を実施
- 7月 ダム周辺施設の安全利用点検を実施 (奥州市と合同)  
桜の回廊の環境整備を実施 (水源地域ビジョン活動団体「森まもる熊」)  
ダムカードにS (スポーツ) マークを追加して配布開始
- 8月 3年ぶりの胆沢ダムフェス2022 in夏を開催!  
堤体登山体験会に29名が参加し、延べ440名が胆沢ダムを訪れた  
親子deエネルギー体感ツアーを開催 (岩手日日新聞社主催) 25名の親子が胆沢ダム内部などを見学
- 9月 ダム内部の点検を遠隔飛行ドローンで行う実証実験を公開
- 10月 胆沢ダム展示室来館者50万人を達成  
胆沢ダムフェス2022 in秋を開催! 湖巡視などのイベントに延べ220名が参加  
期間中は約3,000人が胆沢ダムを訪れた  
流木の提供を実施: 延べ44名の希望者に流木を無償提供
- 12月 北上川五大ダム「ダムカレンダー2023」完成 (胆沢ダムの今昔を紹介)
- 1月 北上川五大ダム「ダムカードの歴史」パネルを展示
- 2月 春の融雪水を有効活用し発電量を増やす取組を試行開始



9/14遠隔飛行ドローン 監査廊内を点検



10/22・23  
ダムフェス2022in秋 (堤体内部公開)



10/28来館者50万人を達成

## 胆沢ダム利水協議会幹事会 が開催されました

今月9日、胆沢ダム管理支所内で、胆沢ダム利水協議会幹事会が開催されました。会議では、今年度の胆沢ダム運用状況報告及び来年度の貯水池運用計画や取水計画、工事作業予定などの確認を行いました。

～主なメンバー～

- 【かんがい用水】胆沢平野土地改良区
- 【上水道】奥州金ヶ崎行政事務組合
- 【発電】岩手県企業局、電源開発 (株)
- 【ダム管理者】北上川ダム統合管理事務所  
胆沢ダム管理支所



## 円筒分水工の放水が始まります!

胆沢平野の春の風物詩でもある徳水園にある円筒分水工の放水式が開催されます。日本最大級の円筒分水工から噴き上げる命の水、その迫力を是非ご覧ください!

**放水式: 4月21日 (金) 午後11時～**

【命水の大噴水が見られる時間】

10時～16時の予定  
(1時間おきに15分間)

日本最大級の  
円筒分水工なんだよ!



～問い合わせ先～  
胆沢平野土地改良区  
☎0197-24-0171

## 冬期通行止め解除予定のお知らせ

国道397号尿前ゲート: 4月中旬予定

国道397号秋田県境: 5月中旬予定

市道及び栗駒焼石ほっとライン: 4月下旬予定

詳細は『岩手県道路情報提供サービス』をご確認ください。

〈問い合わせ先〉

◆国道397号◆県南広域振興局土木部 TEL: 0197-22-2881

◆市道および栗駒焼石ほっとライン◆  
奥州市維持管理課 TEL: 0197-24-1111

## 堤体への立ち入りは危険です!

胆沢ダム堤体は傾斜が急で、転倒すると大怪我をするおそれがありますので、天端(てんば)の両端にある鎖の中には、入らないでください。



## 編集後記

気温の上昇と共に奥州湖の結氷はあっという間になくなり、胆沢ダムにも春の足音が近づいています。そろそろ“白雪の滝”(越流)も始まりそうですよ! また、春は旅立ちの季節でもありますね。進学や就職あるいは転勤等でこの地を離れる方もいることでしょう。みなさまの新天地でのご活躍を胆沢ダムから応援しています。(流)

発行  
北上川ダム統合管理事務所 胆沢ダム管理支所

〒023-0403 岩手県奥州市胆沢若柳字横岳前山6

TEL: 0197-49-2981 FAX: 0197-49-2988

ホームページ: <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

公式Twitterページ: [@mlit\\_kitakato](https://twitter.com/mlit_kitakato)

